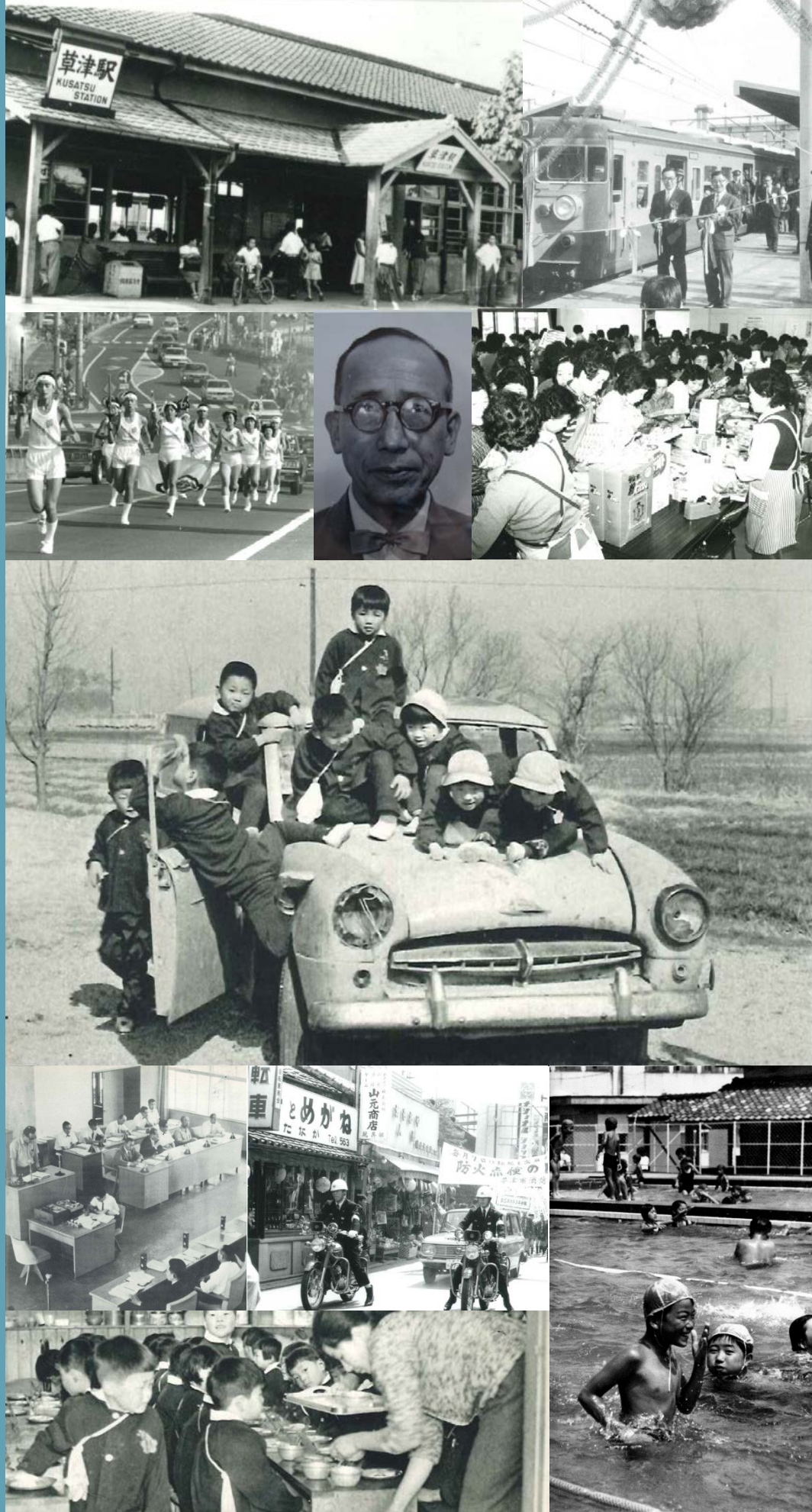


ふるさと 草津 70 年史 — 年表



地道な田園都市をめざす ―誕生と草創の時代―

昭和 29 年-昭和 44 年

1945(昭和 20)年。5 年におよぶ太平洋戦争は日本の敗戦により幕を閉じました。戦後の混乱が落ちつきをみせはじめた 9 年後の 1954(昭和 29)年 10 月 15 日に草津市が誕生します。県下 6 番目の市として、草津町・志津村・老上村・山田村・笠縫村・常盤村の 1 町 5 村による 3 万 2152 人による船出。人口規模の効率化をはかった、いわゆる昭和の大合併です。

この時代は草津市が都市として人々の生活基盤を整えながら、「地道な田園都市」をめざし農漁業や花卉園芸など第一次産業に力をいれた草津市の草創期にあたります。「もはや戦後ではない」(経済白書 1956)の言葉が象徴する復興と再生に向かう人々のエネルギーが街に活気を与える一方で、市内でも度々、労使紛争が起こるなど、そのエネルギーが生み出す光と影により混沌とした空気に包まれた時代です。また急激な都市基盤の整備により市の財政は 2 度の危機にさらされることとなります。



昭和

29

1954

草津市が誕生 人口 3 万 2152 人

草津・志津・老上・山田・笠縫・常盤の 1 町 5 村が合併

初の市長選挙 初代市長に黒川広太郎氏

マリリン・モンロー来日
ビキニ環礁水爆実験で第五福竜丸が被災

昭和

30

1955

草津市社会福祉協議会ができる

草津郵便局争議がおこる

自由党と日本民主党が合同 自由民主党結成
後楽園ゆうえんち(東京)

昭和

31

1956

国鉄 東海道本線が電化

渋川地区が栗東町より分離編入合併

県立農業短大から県立短大へ

日本住宅公団、入居者募集はじまる
メルボルン五輪 競泳、レスリングなどで金
日本 国際連合へ加盟
映画「太陽の季節」 太陽族が社会現象

昭和

32

1957

草津競馬場跡地に綾羽工業の工場

ソ連が人工衛星打ち上げ(スプートニク 1 号)
長嶋茂雄が巨人軍に入団

昭和

33

1958

笠縫小学校 新築校舎 完成

市役所 新庁舎(現:込田公園)に移転

学習指導要領の改訂 週 1 時間の「道徳の時間」

アメリカが人工衛星打ち上げ
東京タワー
即席めん チキンラーメン(日清食品)発売
フラフープ大流行

昭和

34

1959

市議会議員の定数が 24 となる

草津小学校に市内初のプール

キューバ革命がおこる
「少年サンデー」「少年マガジン」創刊
皇太子・正田美智子ご成婚
伊勢湾台風
花登筐(滋賀出身)の脚本ドラマ「番頭はん」と「稚どん」

昭和

35

1960

草津市商工会ができる

老上小学校 新築校舎 完成

立石電機(現在のオムロン)草津事業所 開業

三池炭鉱争議が激化
安保条約の改定阻止運動高まる
新農薬 PCP 公害で琵琶湖の魚やシジミが大量死
ローマ五輪 マラソンでアベベが裸足で金
だっちゃん(ウインキー)人形 大流行

昭和 36 1961	市議会で地方財政再建特別法に基づく財政再建方針可決	瀬田川洗堰(新洗堰)が完成 大鵬・柏戸が横綱に昇進 柏鵬時代はじまる うたごえ喫茶の流行
昭和 37 1962	三和中学校が廃止され松原中学校に分校として編入 ヒカリ屋の前身「主婦の店ひかり屋」 開店	琵琶湖で毎日マラソンが始まる キューバ危機
昭和 38 1963	婦人交通指導員制度はじまる(県内初) 伯母川の河口付近に草津温泉観光センター 草津市農業協同組合が誕生 (志津・老上・山田・笠縫・常盤) 松原中学校 新築校舎 完成 国道一号線に県内初のアーチ型歩道橋建設	「鉄腕アトム」テレビ放映はじまる びわこ学園が天津市に開園 名神高速道路(栗東-尼崎)が開通 ケネディ大統領が暗殺 カ道山が刺殺 バーモントカレー(ハウス食品)発売
昭和 39 1964	市制 10 周年 第 1 回市民文化祭 市民歌ができる 草津川のマンポの拡幅改修がおわる 東京オリンピックの聖火が市内を通過 志津で生産のカーネーション「青地ピーター」名称登録 陽の丘団地 造成	名神高速道路が全線開通 巨人軍 王貞治がホームラン 55 本の新記録 東海道新幹線(東京-新大阪)開通 東京五輪 女子バレーボール 東洋の魔女 シンザン 三冠馬 琵琶湖大橋ができる
昭和 40 1965	私立綾羽高等学校が開校 草津市文化協会が発足 湖南衛生プラントが完成	ベトナム戦争 佐藤首相が沖縄を訪問 朝永振一郎 ノーベル物理学賞 アイビールック・パンタロンが流行 エレキブーム
昭和 41 1966	上水道供給開始 都市ガス導入 草津の電話が自動化	全日空機が羽田沖に墜落 日本の人口が 1 億人を突破 ビートルズ来日 武道館公演 ウルトラマン 放映開始
昭和 42 1967	国鉄草津駅が橋上化 中央幼稚園 志津幼稚園 開園 草津市民憲章 制定	高見山が初の外国人関取 ツイッギー来日 ミニスカートブーム グループサウンズ 流行

昭和

43

1968

国鉄草津駅 西口開設

第1回歩こう会

笠縫小学校 新築校舎

平和堂・ヒカリ屋の大型店が草津駅前に進出

カーネーション栽培全盛 京都市場の8割占める

桜ヶ丘の造成はじまる

中央商業協同組合の3F建ビルが完成 5つの専門店

金蟻老事件

イタイイタイ病が公害病に認定

小笠原諸島が日本に返還

びわ湖博覧会が天津湖畔で開催

川端康成 ノーベル文学賞

三億円事件

ボンカレー(世界初のレトルトカレー)発売

メキシコ五輪 男子サッカーで日本が初の銅

昭和

44

1969

第一次草津市総合計画策定

老上幼稚園が開園

鳩が森 南笠第一ニューランド 野路小林の宅地開発

第1回宿場まつり 開催

安田講堂事件

アポロ11号の月面着陸に成功

千葉県松戸市に「すぐやる課」

江若鉄道さよなら花列車 江若バスの営業開始

「8時ダヨ! 全員集合」

「ゲバゲバ 90分」

「サザエさん」が放送開始

工業化「共働きとかぎっ子」ー変化と流入の時代ー

大阪万博が開かれた1970(昭和45)年、草津市は草津市総合開発計画により長期ビジョンにたった計画的な市政と都市づくりへと転換をはかります。先の財政危機を教訓に「調和のとれた10万人都市づくり」を理念に掲げ、流入人口を増やしていくことで人口規模の適正化をはかっていくことに力を入れ始めます。そのため大企業や工場の誘致に取り組み、工業団地の造成も始まります。この誘致は民間企業による宅地開発も誘発し、人口は急激に増加しはじめます。

働く場が増えたことは働く女性を増やしました。ファミリー世帯を中心に「共働き」や「かぎっ子」という言葉に象徴される暮らしが多みられるようになります。また、急激な人口増加に伴い子どもの数も増え、保育所や小中学校が不足し、その設置に追われます。労働者世帯の生活や余暇活動も含めた労働者政策に力を入れる時代でした。

なお目標とした10万人突破は1995(平成7)年まで待つこととなります。

昭和45年-昭和55年



昭和

45

1970

国鉄東海道本線(草津-京都) 複々線化

市民会館 込田児童公園が完成

初の市立保育所(草津保育所)開設

野村 上笠 湖都町 宅地開発

日航機「よど号」が赤軍派学生にハイジャック

大阪万博(日本万国博覧会)

光化学スモッグ発生

銀座などで「歩行者天国」

三島由紀夫 割腹自殺

昭和

46

1971

野村町に市民総合運動公園 開設

国鉄 新快速が草津駅発着

公害対策基本計画 公害パトロールカーによる監視・啓発

湖州平の宅地開発

大久保清による連続女性誘拐殺人事件

琵琶湖や瀬田川の魚からPCBが検出

環境庁 設置

カップヌードル(日清食品)発売

アンノン族 ボウリングの流行

第二次ベビーブーム 団塊ジュニア

昭和

47

1972

草津市土地開発公社が発足

市内の工場排水からPCBが検出

草津商工会議所が設立

横井庄一 グラム島のジャングルから救出

札幌冬季オリンピック ジャンプ競技

「日の丸飛行隊」

連合赤軍浅間山荘事件

高松塚古墳の壁画発見

びわ湖放送(BBC) 本放送開始

沖縄が日本に返還

	下笠区の圃場整備おわる ロクハ浄水場ができる 草津初 国鉄東海道線の立体交差完成 山田-草津線 南草津ニュータウンの宅地開発 着工 草津用水が完成	ミュンヘン五輪 男子バレーボール初の金メダル 田中角栄首相訪中 日中共同声明に調印 上野動物園にジャイアントパンダ「ランランとカンカン」
昭和 48 1973	草津第二小学校ができる(草津小学校より分離) 移動図書館がはじまる 草津小学校 創立 100 周年 西友ストア 開店 学校給食センターができる 南笠第二ニューランドの宅地開発 着工 勤労青少年ホームができる	ベトナム和平協定 調印 国鉄で「シルバーシート」登場 第1次 オイルショック トイレットペーパーの買い付け騒ぎ プロ野球 巨人軍が V9 達成 江崎玲於奈 ノーベル物理学賞 日本赤軍 日航機ハイジャック事件 「ノストラダムスの大予言」出版
昭和 49 1974	山田小学校が現在の場所に移転 近江大橋が開通 草津市の人口 6 万人突破 市制 20 周年 「草津宿場史」刊行	小野田少尉がフィリピン・ルバング島から帰国 ユリ・ゲラーがテレビ出演 超能力ブーム 宝塚歌劇団「ベルサイユのばら」上演 「ベルばら」ブーム 佐藤栄作 ノーベル平和賞 巨人軍 長島茂雄引退
昭和 50 1975	山寺工業団地の造成おわる	全国植樹祭が栗東町で開催 沖縄海洋博覧会 初の先進国首脳会議(サミット)フランスで開催
昭和 51 1976	馬場工業団地の造成おわる 矢倉で六価クロムによる公害問題 志那真珠養殖組合の生産高 最盛 シャルマンコーポ草津の入居開始(県下一の高層マンション)	田中前首相逮捕 ロッキード事件 モントリオール五輪 体操コマネチ 史上初の 10 点満点 年末ジャンボ宝くじ 一等賞金 1 千万円 ピンクレディーがデビュー 琵琶湖に赤潮が大発生(以後 8 年連続)
昭和 52 1977	玉川小学校ができる(老上小学校より分離) 清掃工場(馬場町) 運転はじまる 市民体育館ができる 山田漁業協同組合の最高漁獲高が 1 億 9000 万円を超える 社会福祉センターができる	有珠山大噴火 王貞治に初の国民栄誉賞 カラオケの流行 キャンディーズ引退宣言 「普通の女の子に戻りたい」

昭和

53

1978

草津市史の編集はじまる

笠縫東小学校ができる(笠縫小学校より分離)

矢倉小学校ができる(草津小学校より分離)

草津東高等学校ができる

草津市合成洗剤対策市民運動協議会が発足

新東京国際空港(成田空港)開港
植村直己 犬ぞり単独で北極点に到達
宮城県沖地震発生
日本人の平均寿命が世界一(厚生省発表)
びわこを守る粉せっけん使用
推進県民運動連絡会 発足
口裂け女が話題に

昭和

54

1979

老上中学校ができる(草津中学校より分離)

県立老人福祉センター「ロクハ荘」ができる

奈良時代の製鉄遺構「野路小野山遺跡」の発掘

志津運動公園ができる

第1回 草津市民教養大学

勤労福祉センター・働く婦人の家 完成

初の国立大学一次試験(共通一次)
東京サミット(先進国首脳会議)
ソニーが「ウォークマン」を発表
県議会「琵琶湖富栄養化防止条例」成立
ソ連がアフガニスタン侵攻
インベーダーゲーム流行
「金八先生」「ドラえもん」放送開始
流行語「シカト」「ナウい」

昭和

55

1980

国鉄草津線が電化

新堂中学校ができる(松原中学校より分離)

滋賀県草津合同庁舎 完成

湖南消防組合西消防署 完成

野路岡田遺跡の発掘

モスクワ五輪
アメリカ、日本、西独など参加ボイコット
山口百恵が引退公演
金属バット殺人事件 ジョン・レノン射殺
ゲーム&ウォッチ 漫オブーム 竹の子族
中国残留日本人孤児 47 人が来日

憩いとゆとりの先に ー成長と共存の時代ー

昭和 56 年-平成 2 年

草津駅前の再開発など、さらなる都市化が加速される時代となります。全国的なクルマ社会の本格的な到来に伴い、京滋バイパスやサンサン通りの開通など交通網の整備が進み、市民の移動性が飛躍的に高まります。市民生活では「憩い」や「ゆとり」を求める余裕も見えはじめ、図書館やスポーツ施設、ロクハブールの開設などが相次ぎ、物・資両面から文化的欲求を充足させる政策が進みます。

一方で、流入人口の急激な増加や生活様式の変化はいくつかの問題もはらんでいました。“支え合い・助け合い”といった隣り近所や地域のつながりが希薄化する現象が見えはじめ、それは草津市コミュニティ事業団の設立や草津市社会福祉協議会でのボランティアセンター開設へとつながります。また生活から出されるゴミは処理が追いつかないほどで不法投棄なども目立ちはじめます。人々の生活排水が流れ込む琵琶湖の汚染問題への対策も急がれました。



昭和

56

1981

“草津八大名所”がきまる

志那の浜・芦浦観音寺・北山田そ菜園風景・草津宿本陣
矢橋港跡・旧草津川堤防道・青地城址・萩の玉川

草津・栗東行政事務組合ができる

都市計画街路 下笠-下砥山線国鉄高架道路ができる

第2次総合開発計画「活力ある調和のとれた市民都市」

総合体育館ができる

びわこ国体 開催 市内では卓球・ソフトボール

草津駅前の再開発が始動

キンモクセイ(市の木)・アオバナ(市の花)制定

神戸ポートアイランド博覧会(ポートピア'81)
アメリカがスペースシャトルの打ち上げ成功
チャールズ王子・ダイアナ妃が結婚
滋賀県でびわこ国体がひらかれる
沖縄本島でヤンバルクイナ発見
FORCUS 創刊
「北の国から」放送開始

昭和 57 1982	第 1 回くさつ産業フェア開催 第 1 回草津スポーツ大会開催 観音寺市(香川県)と姉妹都市提携 矢橋港遺跡の発掘 県立湖南農業高校が開校	ホテル・ニュージャパン火災 羽田で日航機が着陸寸前に墜落 琵琶湖に大型外輪船「ミシガン」就航 500 円白銅貨発行
昭和 58 1983	図書館(本館)ができる 矢橋帰帆島で初の花火大会 県立玉川高等学校ができる	東京ディズニーランドが開園 NHK 朝の連続テレビ小説 「おしん」が爆発的人気 戸塚ヨットスクール事件 サハリン沖で大韓航空機が撃墜される
昭和 59 1984	高穂中学校ができる(草津中学校より分離) (財)草津市コミュニティ事業団設立(シルバー人材業務開始) 市制 30 周年 京滋バイパス(国道 1 号線一野路)開通	ロサンゼルス五輪 陸上カール・ルイスが活躍 県立近代美術館 開館 第 1 回世界湖沼環境会議が滋賀で開催 グリコ・森永事件 マイケル・ジャクソン「スリラー」
昭和 60 1985	近江大橋が四車線化 北山田漁港の改修工事おわる	日本電信電話公社・日本専売公社が民営化 豊田商事のペーパー商法が問題化 会長の永野一男氏刺殺 日本航空ジャンボ機墜落事故 ロス疑惑の三浦和義氏を逮捕 阪神タイガースが 21 年ぶりにリーグ優勝 日本シリーズも制する
昭和 61 1986	市役所でオンライン可 住民票などの即時交付が可能に 草津高等専修学校 30 年の歴史に幕	男女雇用機会均等法施行 アメリカ スペースシャトルが発射後に爆発 チェルノブイリ原発事故
昭和 62 1987	志津南小学校ができる(志津小学校より分離) 社会福祉協議会にボランティアセンター開設 草津都市開発株式会社 設立	ゴッホの「ひまわり」 53 億円で落札 国鉄の分割・民営化(JR 発足) 広島カープの衣笠祥雄に国民栄誉賞 抱きしめて BIWAKO
昭和 63 1988	京滋バイパス(草津-京都久御山)が開通 ハミングロードが開通 私立光泉中学校・高等学校ができる ロクハ公園プールができる サンサン通り 草津駅西側三路線が開通	JR 西日本 京都-米原間の名称を「琵琶湖線」 青函トンネル開通 青函連絡船が姿を消す 日本初のドーム型球場 東京ドーム竣工 ソウル五輪 ドーピング問題本格化 リクルート疑惑事件

昭和 平成
64/元
1989

南笠東小学校ができる(玉川小学校より分離)

市道草津駅下笠線が開通

JR 草津駅開業 100 周年

マンボ(草津川トンネル)の塗替 壁面に昔の草津川の様子

エルティ 932 がオープン

昭和天皇が崩御
皇太子が皇位を継承し「平成」となる
初の消費税 3%
中国 天安門事件
米ソ冷戦の終結 ベルリンの壁崩壊
東欧諸国の民主化
大津市に龍谷大学 開学
滋賀県選出の宇野宗佑が
第 75 代内閣総理大臣に就任
美空ひばり 死去

平成
2
1990

ごみ問題を考える草津市民会議 設立

湖南幹線砂川大橋 開通

花と緑の博覧会 大阪で開催
長崎・雲仙普賢岳 200 年ぶりに大噴火
日本人初の宇宙飛行士 秋山豊寛 宇宙
へ

「モノの豊かさ」から「心の豊かさ」へ ー飛躍と転換の時代ー

平成 3 年-平成 10 年

人口 10 万人を目前とした 1994(平成 6)年には立命館大学びわこ・くさつキャンパス(BKC)が開学。その半年後には最寄駅となる JR 南草津駅が開業。南草津駅周辺には高層マンションが建設され、子育てファミリー世代を中心に入居が始まります。人口の増加はさらに加速され 1997(平成 9)年にはついに彦根市を上回り、県内2位の都市へと躍進します。

都市基盤や市民の生活基盤の整備が落ち着きをみせ、1996(平成 8)年には改修していた国指定史跡草津宿本陣の一般公開にはじまり、水生植物公園みずの森や琵琶湖博物館がオープンするなど、市ではこの年を「観光元年」として観光資源を活用した政策が目立つようになります。

一方、1995(平成 7)年の阪神淡路大震災は日本中に大きな衝撃と無力さを実感させるとともに、復興支援に活躍したボランティアの姿は世間の耳目を集めました。

「モノの豊かさ」から「心の豊かさ」へと時代は移ろうとしていました。



平成
3
1991

草津養護学校ができる

第一びわこ学園が草津市に移転開園

第 3 次草津市総合計画「活力と魅力あふれる生活文化創造」

湾岸戦争 ソビエト連邦解体
新宿に東京都庁
信楽高原鉄道 JR 西日本臨時列車と正面衝突
故 長谷川町子 国民栄誉賞

平成
4
1992

玉川中学校ができる(老上中学校より分離)

木瓜原遺跡の発掘

市役所新庁舎で業務開始

さわやか保健センター 草津アミカホール 開設

草津ウエスト(街道文化情報センター) 開設

ブラジルで国連環境開発会議(地球サミット)
バルセロナ五輪
女子 200m平泳ぎで 14 歳の岩崎恭子が金
琵琶湖ヨシ群落保全条例
ごみの散乱防止に関する条例 施行
国公立小中高等学校で第2土曜日が休校
佐川急便事件発覚

平成
5
1993

弾正公園テニスコート 開設

プロサッカー Jリーグ開幕
皇太子・小和田雅子 結婚
細川内閣発足 非自民 6 党連立内閣

平成
6
1994

立命館大学びわこ・くさつキャンパス 開学

伊佐々川放水路ができる

JR 南草津駅が開業

市制 40 周年

長寿の郷ロクハ荘が県より移管される

自民・社会党が連立 村山富市内閣
関西国際空港 開業
大江健三郎 ノーベル文学賞
ソニー テレビゲーム機「プレイステーション」



平成 12 2000	草津グリーンスタジアムができる JR 草津駅の地下道路開通 市民活動団体交流イベント「パワフル交流 21」 初開催	介護保険制度が開始 九州沖縄サミット シドニー五輪 マラソン 高橋尚子が日本女子初の金 地方分権一括法
平成 13 2001	全国高校サッカーで草津東高校が準優勝 くさつ夢風車ができる	小泉純一郎内閣発足 アメリカ同時多発テロ発生 BSE(狂牛病)問題が深刻化 滋賀県で世界湖沼会議
平成 14 2002	かがやき通り 開通 新草津川に通水 JR 草津駅のバリアフリー化 まちづくりセンター 開設 市民交流プラザ・南草津図書館 開設 ぴーぷる(人権センター) 開設	日韓ワールドカップ アジア初開催 小泉首相 日本の首相として初めて北朝鮮を訪問 拉致被害者 5 人が北朝鮮より 24 年ぶりに帰国 田中耕一 ノーベル化学賞
平成 15 2003	渋川小学校ができる(草津第二小学校より分離) 公民館の市民センター化 第 1 回 草津街あかり華あかり夢あかり 開催	イラク戦争 十勝沖地震 イラク サダム・フセイン元大統領を拘束
平成 16 2004	熱中症予防情報の発令開始 TOWER111 オープン	アテネ五輪 平泳ぎ 北島康介が 100m、200mで金 マリナーズのイチローが 年間最多安打 大リーグ新記録 50 年ぶりの新球団 東北楽天ゴールデンイーグルス 韓流ドラマ プーム
平成 17 2005	名神高速道路 草津・田上 IC が開通	第2次世界大戦 終戦 60 年平和祈念 愛・地球博 開催 個人情報保護法 施行
平成 18 2006	草津市桜憲章 制定 JR 南草津駅 西口自転車駐車場 開設	障害者自立支援法 ライブドアショック 第 1 回ワールド・ベースボール・クラシック サムライ・ジャパン優勝
平成 19 2007	渋川福祉センターができる 渋川市民センターができる JR 南草津駅西口の駅前広場 共用開始 地球温暖化防止フェア in びわこ・くさつ 開催	初代 iPhone 発売 第 1 回東京マラソン 郵政民営化

平成

20
2008

熱中症嚴重警報発令が年間 50 日超える
大型商業施設イオンモールが新浜町に開業

北京五輪 ソフトボールで日本が金
リーマンショック

平成

21
2009

くさつ夢本陣 えふえむ草津(コミュニティFM) 開設
大路市民センターができる
市内の人口が 12 万人突破
初のイナズマロックフェスを開催

裁判員制度がスタート
民主党政権になる
マイケル・ジャクソン 死去
新型インフルエンザ 世界的大流行

“元気”と“うるおい”のあるまちへ ー地域支え合いの時代ー

平成 22 年-令和 2 年

全国的に少子高齢社会・人口減少社会を本格的に迎えた現在。
“団塊の世代”と呼ばれた世代が定年を迎える時代に突入し、高度成長期以降に核家族による流入市民が急激に増えた草津市にも着実に高齢化の波が近づいています。認知症、孤独死、老老介護、災害時の助け合いなど家庭や地域に身近な問題が社会問題化しつつあります。草津市では誰もが安心していつまでも暮らしていけるまちづくりを進めるため、2010(平成 22)年の草津学区を皮切りに各小学校区単位で「まちづくり協議会」が設立されるなど、地域の足腰を強くしていくとする動きが急ピッチで進んでいます。2014(平成 26)年には「草津市協働のまちづくり条例」も施行され、これらの動きを支えています。

高齢化は市民の移動を徐々に鈍らせます。まめバスの本格運行や一部の地域で導入された「支え合い運送支援車両」など、公共交通の空白地や移動に制約のある人に対する生活交通を確保していくなどの動きも始まります。

「“元気”と“うるおい”のあるまち草津」をめざし、次の時代へと新しい一歩を踏み出そうとしています。



平成

22
2010

第 1 回みなくさまつり 開催
電子黒板を使った授業がはじまる
草津学区で市内初の
まちづくり協議会「ひと・まちいきいき協議会」ができる
(以降、順次設立)
三ツ池運動公園ができる
第 5 次草津市総合計画 「“元気”と“うるおい”のあるまち草津」

日本年金機構 発足
小惑星探査機「はやぶさ」地球に帰還
観測史上最高の猛暑
宮崎県で口蹄疫の被害が拡大

平成

23
2011

JR 西日本南草津駅が新快速の停車駅となる
草津市コミュニティ事業団が公益財団法人に移行
草津市消費生活センターができる
子育て支援センターができる
市立の幼稚園・小・中学校の全教室にエアコン設置

東日本大震災
FIFA 女子ワールドカップ
なでしこジャパン優勝
地上デジタル放送に完全移行

平成

24
2012

淡水真珠養殖復活実験作業はじまる
草津商工会議所 「くさつバル」はじまる
「赤ちゃんの駅」オープン
草津市自治体基本条例が施行
ロンドン五輪に草津市出身の我孫子選手が棒高跳びで出場

東京スカイツリー開業
ロンドン五輪
体操男子個人総合で内村航平が金
山中伸弥 ノーベル生理学・医学賞

平成

25

2013

まめバス本格運行を開始

草津まちづくり(株)ができる

草津市シティセールス KUSATSU BOOSTERS 委嘱

住みよさランキングで草津が近畿 1 位に

富士山が世界文化遺産に登録
2020 年のオリンピックが東京に決定
消費税が 5%から 8%に
長嶋茂雄 松井秀喜 国民栄誉賞

平成

26

2014

史跡草津宿本陣楽座館ができる

草津市協働のまちづくり条例が施行

小学校でタブレット端末を活用した授業がはじまる

草津ふるさと寄附制度はじまる

JR 草津駅前に niwa+ (ニワタス) オープン

志津南地区と山田地区に地域支え合い運送支援車両が導入
(社会福祉協議会)

しが県民芸術創造館が市へ移管 草津クレアホールへ

福島・伊達市と友好交流協定

理化学研究所 STAP 細胞問題
男子テニス錦織圭が4大会で日本人初
の決勝進出
赤崎勇・天野浩・中村修二 青色発光ダイ
オード(LED)でノーベル物理学賞

平成

27

2015

草津市の人口が 13 万人に

滋賀県民芸術創造館が市へ移管 草津クレアホールへ

大江霊仙寺線(川ノ下工区)供用開始

民設児童育成クラブ開設

認知症カフェなごみオープン

草津市の人口が 13 万人に

女性のチャレンジ応援塾が開講

ラグビーW 杯で歴史的勝利
梶田隆章・大村智 ノーベル賞
安全保障関連法成立
TPP 交渉大筋合意
川内原発再稼働

平成

28

2016

老上西小学校開校・老上西市民センター開館

アーバンデザインセンターびわこ・くさつ(UDCBK)開設

矢橋ふたばこども園・笠縫東こども園開園

健幸都市宣言

老上西学区まちづくり協議会 設立

熊本地震
オバマ大統領が広島訪問(米大統領初)
天皇が「象徴としての務め」でお気持ち表明
米大統領選でドナルド・トランプ当選
SMAP 解散
東京五輪エンブレム決定
キューバ革命の指導者カストロが死去
日銀マイナス金利導入

平成

29

2017

市民センター・公民館が「地域まちづくりセンター」に

アーバンデザインセンターびわこ・くさつ(UDCBK)移転

子育て応援サイト&アプリ「ぽかぽかタウン」リリース

草津川跡地公園 ai 彩ひろば・de 愛ひろば(区間 5)供用開始

草津市文化振興条例施行

学校法人「森友学園」の用地不正取得問題
将棋の最年少プロ棋士藤井聡太4段(14)が
公式戦連勝記録を更新 29 連勝
日系イギリス人、カズオ・イシグロさんに
ノーベル文学賞
スペインのカタルーニャ州独立運動
日本ハム大谷翔平がメジャーリーグ・
エンゼルス入団を発表
上野動物園のジャイアントパンダの赤ちゃん
「シャンシャン」一般公開

平成

30
2018

新クリーンセンター供用開始

芦浦観音寺・草津サンヤレ踊り日本遺産に追加認定

認定こども園「たちばな大路子ども園」

「草津中央おひさま子ども園」開園

子育て支援拠点施設「ミナクサ☆ひろば」オープン

榊差遺跡で国内最古の獣脚類型・国内最古級鋳型遺構発見

平昌オリンピック 最多メダル
潜伏キリシタン世界遺産へ
イニエスタ神戸加入
大阪で震度6 西日本豪雨死者200人以上
北海道地震
築地の魚河岸、豊洲へ
日産ゴーン会長逮捕

平成 令和

31/元
2019

東海道「草津宿橋」完成

志津こども園・山田こども園開園

草津宿街道交流館開館20周年

YMITアリーナオープン

草津宿本陣で新選組の忘れ物発見

幼児教育・保育の無償化開始

パワフル交流・市民の日 FINAL

天皇陛下即位 元号が「平成」から「令和」へ
ラグビーW杯日本大会日本8強
京都アニメーション放火
消費税10%スタート
東日本で台風被害
吉野彰 ノーベル化学賞
沖縄首里城焼失

令和

2
2020

「草津のサンヤレ踊り」が国の重要無形民俗文化財に指定

南草津プリムタウン地区で市内初の環状交差点

(ラウンドアバウト)供用開始

草津宿場まつり 草津街あかり・華あかり・夢あかり(中止)

東京2020オリンピック聖火リレー(延期)

公立小中学校臨時休校(のち分散登校)

緊急経済対策の各事業開始

飲食店応援チケット・テレワーク応援制度ほか

「まめタク」実証運行開始

新型コロナウイルス感染拡大、緊急事態宣言発令
新型コロナで著名人の死去相次ぐ
東京五輪・パラリンピック延期
菅首相誕生
アニメ映画「鬼滅の刃」
将棋の藤井聡太7段最年少タイトル



人々・地域・時代がつながるまちへ ー絆と多様性の時代ー

東日本大震災の記憶も未だ新しいうちにも、全国で次々と起こる自然災害。そして2019(令和元)年の発生以降、またたく間に世界を襲った新型コロナウイルス。先の見えない脅威と不確実な世界を経験した私たちは、人と人の絆の大切さをあらためて認識することとなりました。ここに暮らす私たち一人ひとりが大切にされるまちや人の営みとはどのようなものか。草津市では健康創造都市を宣言し、身体・健康のみならず、誰もが生きがいをもって、健やかさと幸せを実感できる「ウェルビーイング」な社会の実現を目指します。

いまだ人口が増加する草津市ですが、きたる人口減少・少子高齢社会を見据えた政策やまちづくり活動が活発になります。孤独・孤立・貧困・不登校・引きこもり……。一人ひとりが抱える困難や生きづらさを“個”でなく、“まち”の課題として向き合い、様々な個性や価値観、生き方を認め合う「絆と多様性の時代」へと向かいます。

令和3年ー現在



令和
3
2021

市民総合交流センター(キラリエ草津)オープン
東京 2020 オリンピック聖火リレー
新型コロナウイルスワクチン集団接種開始
イナズマロックフェス 2021 中止

二刀流・大谷翔平メジャーMVP
無観客の東京五輪 最多の 58 メダル
新型コロナ変異株猛威
新型コロナワクチン接種開始
岸田首相就任

令和
4
2022

市立第二学校給食センター 開所
宿場まつり(周遊イベントのみ開催)
キラリエ草津 1 周年記念キラリエまつり 開催
南草津図書館 20 周年
NPO 法人 宅老所心がクラウドファンディングで

安倍元首相撃たれ死亡
W 杯サッカー日本代表 16 強
知床観光船が沈没事故
プロ野球ヤクルト村上史上最年少の三冠王
北京五輪冬季大会最多 18 メダル
羽生結弦引退プロ転向
ロシアのウクライナ軍事侵攻
エリザベス英女王国葬
将棋の藤井聡太 最年少 5 冠

かやぶき屋根をふき替え

山田学区まちづくり協議会「やまだのメロンシャーベット」販売
近江湖南のサンヤレ踊りを含む「風流踊」が

ユネスコ無形文化遺産に登録

令和
5
2023

災害時における道路啓開・電気設備復旧に関する協定
災害時における食料品等の供給に関する協定
災害時における浴場施設利用などに関する協定
災害時における生活物資の供給に関する協定
ごみ袋の取り扱い変更(焼却ごみ袋有料)

イスラエル軍 ガザ侵攻
トルコ・シリア地震
ハワイ大規模山火事
チャールズ英国王戴冠式
ツイッター「X」に変更
WBC で侍ジャパンが 14 年ぶり優勝
藤井聡太史上初 8 冠
阪神タイガース 38 年ぶり日本一
新型コロナ「5 類」に移行
夏の平均気温過去最高

草津市立図書館 40 周年

NPO 法人くさつ未来プロジェクトがクラウドファンディングで

フリー&アフタースクール「HOPE」をオープン

立命館 BKC でウェルカムデー

令和

6
2024

草津市制 70 周年

草津市コミュニティ事業団設立 40 周年

立命館大学 BKC 開設 30 周年

草津市の人口が 14 万人に

能登半島地震
JAXA 国産ロケット「H3」打ち上げ成功
日経平均株価史上初の4万円

令和 6 年 5 月 現在



2～3 割増

ふるさと草津 70 年史年表を楽しくするクイズ！

- Q1 草津市は草津町・志津村・老上村・山田村・笠縫村・①村の 1 町 5 村による合併でした。その年、アメリカの大女優 ② が来日します。
- Q2 ローマ五輪のマラソンでアベグが裸足で金メダルをとった年、草津に立石電機の営業所が開業します。立石電機は後の ③ です。
- Q3 新幹線の開通や東京五輪が開かれた年、志津で生産されたカーネーションの ④ が名称登録されました。
- Q4 大阪万博があった年、国鉄東海道本線の草津-京都間が ⑤ 化されます。
- Q5 ドラマ「北の国から」の放送が始まったその年、草津市の花がアオバナに、草津市の木が ⑥ に制定されました。
- Q6 ベルリンの壁が崩壊した年、⑦ 小学校から分離した玉川小学校が開校します。
- Q7 自民党・社会党が連立した村山内閣が誕生した年に、草津市に ⑧ 大学びわこ・くさつキャンパスが開学します。
- Q8 NPO 法が施行された 2 年後、⑨ が草津で初めての NPO 法人となりました。
- Q9 東京スカイツリーが開業した年、草津では「まちの憲法」と呼ばれる ⑩ 条例が施行されます。
- Q10 コロナ禍の影響で 1 年延期となった東京五輪が開催された年、市民や行政などが協力してまちづくり活動を進めようと、西友跡地に ⑪ がオープンしました。

(公財) 草津市コミュニティ事業団 40 周年記念事業



ふるさと ふたつ 70 年史

【発行】 令和 6 年 5 月

(公財) 草津市コミュニティ事業団

〒525-0032

草津市大路二丁目 1 番 35 号

市民総合交流センター（キラリエ草津 5 階）

Tel 077-565-0477 Fax 077-565-0411

Mail com-com@mx.biwa.ne.jp

HP <https://www.kusatsu-spp.net/>

